

# あい 藍の生葉染めをしてみよう

生葉染めは、草丈が60cm程度になった頃から開花前まで行うことができます。



## 《材料と分量》

- ・染めたい布（シルクストール  
または絹のハンカチなど）  
※ 木綿や麻はあまりよく染まりません。
- ・新鮮な藍の生葉（布の重さの3倍以上）
- ・水（生葉の重さの10倍）

## 《使用する用具など》

- ・ミキサー
  - ・こし袋（洗濯ネットなど）
  - ・桶
  - ・ゴム手袋
- ※ 他の用具でも代用できます。  
※ 染液で着色されるためご注意ください。

## 1. 下準備

- ① 隅々まで染液が浸透するように、  
染めたい布を水に浸しておく。
- ② 藍の葉を畑・鉢から取ってくる。

簡単



## 2. 染液をつくる

- ① 茎から葉を取り、葉を約3～4cm  
の長さに切る。



- ② ミキサーの半分程度まで葉を入れ、  
全体が浸かる程度に水を加え、  
ジュース状になるまで攪拌する。

## ～模様のつけ方～

下準備で水に浸す前に、布の  
ところどころを結んでおいたり、  
畳んで割りばしを挟んでおいたりすると、  
染料がつかない部分が染め抜かれます。  
結び目は染め終わるまではそのままにします。





## 2. 染液をつくる（つづき）

- ③ ミキサーの口にこし袋（洗濯ネットなど）を被せた状態で、濾しながら桶にいれる。
- ④ 2の②③を繰り返して、染液をつくる。（布が浸かる程度の量が必要です。）  
※ 染液はつくってから40分くらいしか染まりません。



## 3. 染める

- ① 下準備で濡らしておいた布をしっかりと絞ってから、桶の中の染液に入れる。  
※ 染液が足りず、布が浸からない場合は水を加えましょう。



- ② 10分程度浸した後、軽く絞り、空気にさらして酸化させることで、しだいに色に変化する。



- ③ 3の①②を繰り返す。  
染め終わったら、布を広げて、流水で水が透明になるまでよく洗う。  
※ 染めを繰り返し過ぎると染めた布の色が濁ってしまいます。



簡単に  
できた!



本格的な藍染に興味のある方、サークル活動に興味のある方は下記までお問い合わせください。  
◆篠路コミュニティセンター ☎011-771-3700



さっぽろ市  
02-Q01-23-691  
R5-2-518

北区市民部地域振興課  
地域活動担当係  
☎011-757-2407